

## 「肉用牛経営向上技術発表会」を開催

— 子牛生産の新たな取組みで京都産和牛を増やそう！ —

11 月 25 日、和牛農家をはじめ関係者約 50 名の参加のもと、当牧場で「肉用牛経営向上技術発表会」を開催しました。

茨城県畜産農業協同組合連合会の中川徹氏から「これからの肉用牛経営の展望」と題して、栄養、和牛改良や牛舎施設などについて幅広い観点から興味深い講演をいただきました。

当牧場からは、今年度から開始した和牛子牛増産事業「京都ビーフ生産拡大事業※」の取り組み状況を報告し、農家からは「ぜひこの事業を活用したい」、「新たな取り組みに期待する」などの声が聞かれるとともに、活発な質疑があり、有意義な発表会になりました。



会場からの報告



中川氏の講演

### ※京都ビーフ生産拡大事業

1. 繁殖雌牛預託事業 … 農家から長期不受胎牛を預かりリフレッシュ放牧や繁殖技術を駆使して受胎させ農家へ返還する。
2. F1 活分子牛増産事業 … F1 (黒毛和種とホルスタイン種の交雑種) を活用して、受精卵移植により和牛子牛の生産を行う。

畜産センター  
碓高原牧場